

絆

会報

229 (夏) 号 もくじ

- ◆ 令和6年度定時社員総会 1
- ◆ 新体制がスタートしました！ 2
- ◆ トピックス 3
- ◆ SC NOW 4
- ◆ 突撃レポート 現場へGO！ 5
- ◆ 私のふるさと 6
- ◆ リレー・エッセイ / 私のチャレンジ教室 7
- ◆ ひろば / 新入会員紹介 / 編集後記 8

発行 公益社団法人 武蔵野市シルバー人材センター
 編集 広報編集委員会 武蔵野市西久保1-6-27
 多摩信用金庫武蔵野支店4階 電話 0422-55-1231(代)
 URL <https://www.musashino-sc.or.jp/>

令和6年度 定時社員総会を開催

令和6年度定時社員総会が6月19日(水)、武蔵野公会堂で開催されました。13時30分、司会の内山理事から開会が告げられ、安達勝会長が挨拶。小美濃安弘市長、落合勝利市議会議員長の祝辞に続き、永年会員表彰（20年15名、10年47名）が行われ、代表者に賞状と記念品が贈られました。

引き続き東京しごと財団からの表彰が行われ、森田良國元会長に、表彰状と記念品が授与されました。

その後、定時社員総会に入り、安達会長から出席者数の確認があり、本総会の有効会員数1,053名に対し出席者71名委任状及び議決権行使書提出会員625名の合計696名となり、令和6年度定時社員総会は無効に成立しているとの報告がありました。



挨拶する安達会長

続いて安達会長から議長選出の要請があり、議長に境南町地区の高木攻会員が選出され議題審議に入りました。

■報告事項

1. 監査報告：中野監事から「適正に処理されている」旨の報告
2. 令和5年度事業報告：中村常務理事から該当部分に沿った報告

■決議事項

1. 令和5年度計算書類等の承認の件
2. 理事6名選任の件

いずれも中村常務理事から説明がなされ、質疑応答を経て承認可決されました。

議長退任の後、小野副会長から閉会の辞が述べられ、令和6年度の定時社員総会の幕を閉じました。その後、一般質疑応答を経て、閉会いたしました。

◎安達会長挨拶

当センターの基本方針「魅力あるシルバー人材センターを目指して～元気に、楽しく、安全に～」をスローガンに以下述べられました。

1. 「自主・自立」「共働・共助」の基本理念のもと、会員・発注者・地域にとって、魅力あるセンターとなる事を目標として、運営を進めます。
2. 「安全就業の徹底」と健康維持であります。即ち、「安全は全てに優先する」との基本理念を再確認し、安全就業に向けた取り組みを推進し、会員の健康状態の把握とそれに基づく措置に務めます。
3. 「就業品質の向上」であります。即ち、発注者からセンターに安心して就業を依頼して頂くため、提供するサービスの品質向上を目指します。
4. 「多様で魅力的な働き方の推進」であります。即ち、会員が求める働き方は多様化しております。また、当センターの会員の平均年齢は75.6歳と高齢化しております。本年度は、特に80歳以上の会員の就業や社会参加の機会の開発や創出について調査・研究を行います。具体的には他のシルバーセンターへ訪問し意見交換を行う事にしております。
生産年齢の減少による、社会における「担い手」はますます必要とされており、いままさにシルバーの力が求められています。皆さんの経験と能力を発揮出来るように、やりがいのある就業と会員の皆さんとのマッチングをいっそう強化してまいります。
5. 令和4年度から、実施中の「地区活動の強化」（地区活動の活性化）については引き続き継続していきます。



表彰を受ける内田さん（左・10年）と岩間さん（20年）



挨拶される小美濃市長と岩間さん

新体制がスタートしました！

公益社団法人武蔵野市シルバー人材センター 役員名簿

令和6年6月20日現在

役職	氏名	備考
会長	安達 勝	代表理事
副会長	小野 千鶴子	代表理事
理事	中村 京子 [※]	常務理事兼事務局長
理事	山田 剛 [※]	武蔵野市健康福祉部長
理事	吉澤 信彦	第1ブロック理事
理事	内田 眞一 [※]	第2ブロック理事
理事	廣瀬 文則	第3ブロック理事
理事	納堂 誠 [※]	第4ブロック理事
理事	内山 光男	第5ブロック理事
理事	加藤 力弥	第6ブロック理事
監事	中野 菱子	
監事	永井 雄太郎	公認会計士

※は今回再任された理事です。

地区ブロック一覧

ブロック名	町名
第1ブロック	吉祥寺東町・吉祥寺南町
第2ブロック	御殿山・吉祥寺本町・中町
第3ブロック	吉祥寺北町・緑町
第4ブロック	西久保・八幡町
第5ブロック	関前・桜堤
第6ブロック	境・境南町

よろしくお祈いします 新任理事



**吉祥寺北町
廣瀬 文則**

武蔵野市シルバー人材センターへ会員登録して6年目、同センターでは植木班で使用する

ハシゴや器材を現場に運ぶ運搬班で、今年3月末迄就業していました。現在、クリーンセンター内で「廃家電製品等の分解、マテリアル回収作業」に就業させていただき、何もせず過ごすことなくこれました。この度、第3ブロック理事のお話を頂き、お世話になっているシルバー人材センターの運営に、会員の皆様の仲間として、未経験な理事の仕事ではありますが、皆様のお役に立てるように努めます。



**境
加藤 力弥**

第6ブロック（境、境南町地区）の理事に推挙いただきました加藤力弥です。会社人生の

終盤を迎え、少しでも地域社会に貢献できればと平成29年に入会し、これまで小学校の施設管理、ふれあい訪問などを担当してまいりました。

令和元年6月から1期2年理事を、その後は境地区の地区長を務めさせていただいております。これらの経験を活かし、微力ながら皆様方のお役に立てればと思い、今回理事職を再度お引き受けした次第です。「人生100年時代」と言われる中、活気ある、魅力あるシルバー人材センターを目指して努力する所存です。何とぞよろしくお願い申し上げます。

お疲れ様でした 退任理事



**吉祥寺北町
内田 成子**

このたび、理事を退任することとなりました。地区の会員の皆様と地区連絡会や班長副

班長会議を通してお知り合いになれたことを、とても嬉しく思っております。

理事就任当初は何もわからず戸惑うことばかりでしたが、理事の皆様、会員の皆様、事務局の皆様のお力添えのおかげで1期2年を務めることができました。本当にありがとうございました。

健康であるかぎり、シルバー人材センターでのお仕事を続けたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願い致します。



**境
舟山 五郎**

1期2年を務めさせて頂きました。あっという間の2年間でありました。

私の好きな言葉に、桜梅桃季（おうばいとうり）というのがあります。読んで字の通り、桜は桜、梅は梅。それぞれの咲き方があります。人も様々です。私も様々な方と知り合い、大切な友も沢山増えました。2年間の在任中、様々な課題もあり、その度に微力ながら精一杯させて頂いたつもりです。

在任中、支えて頂いた方々に感謝申し上げます。ありがとうございました。

トピックス

会員募集のポスターを郵便局で貼り出しました

今年、2024年3月4日(月)から17日(日)までの2週間、武蔵野市内全域の郵便局に、武蔵野市シルバー人材センターの会員募集ポスターが掲出されました。みなさんご覧になりましたでしょうか？

今年3月に市内全戸に配布された募集チラシをベースにデザインしました。

武蔵野市シルバー人材センターでは、こちらのポスター掲出を始め、いろいろなメディアを通じて会員募集の活動に取り組んでいきます。



武蔵野桜堤郵便局に掲出されたポスター

シルバー人材センター健康フェスタを開催

2月16日(金) 武蔵野総合体育館にて「武蔵野市シルバー人材センター健康フェスタ」を開催しました。60歳以上の市民を対象に実施され、45名の参加がありました。

始めに会長から挨拶とシルバー人材センターの紹介が行われた後、前半は管理栄養士 浜本千恵氏による「認知症予防 食事で脳を活性化！」と題した講話、後半は柔道場へ移動し、健康運動指導士 昌浦龍男氏による「転倒予防体操&脳トレ」の実技指導を受けました。

参加の皆様からは“ためになった”“楽しかった”、との声をいただきました。



講話をされる浜本先生



昌浦先生の指導により、みんなで体操



参加して良かった「健康パトロール」

～地区活動報告「活性化プロジェクト」～

4月27日(土)、第6ブロック(境南町・境地区)で、第2回「健康パトロール」が実施されました。これは、地区活性化プロジェクトの一環として「会員の健康増進・親睦と、相互コミュニケーションの活性化」を図るために企画されたもの。昨年11月に第1回が行われ、17名の参加者が境南町にある名所・旧跡(甲武鉄道100周年記念碑、国文化財・日本獣医大校舎、杵築大社など)を巡りました。

第2回の今回は、境地区の名所・旧跡を訪問。生憎の小雨模様とゴールデンウィーク初日という事もあって、参加者は「少数精鋭」の10名となりましたが、最高齢86歳のNさんはじめ皆さんとてもお元気。集合場所の武蔵境駅南口「ふれあい広場」で、まずはラジオ体操でからだをほぐしてから、いざ出発。



元気に出発 楽しい「健康パトロール」

最初は、昨年創立150周年を迎えた武蔵野市立第二小学校の「二小記念碑」を見学。場所は境2丁目の武蔵野市民会館の敷地内。明治43年から昭和43年にかけて学校があった場所で、昨年11月に卒業生有志が建てたもの。参加者の中には同小の卒業生もいて「これは知らなかったあ」の声も出ました。

続いて、北に向かって国指定史跡となっている玉川上水にかかる桜橋を渡り、向かいにある境浄水場を見ながら、国木田独歩文学碑へ。この文学碑には、桜橋の記述のある小説「武蔵野」の一文が描かれています。そして、玉川上水沿いを西に散歩。水質管理等を行っていた境水衛所跡・国指定史跡玉川上水碑を通過して桜堤給食調理場横の公園で休憩。昭和42年に設立し、3年前に建替えられ



第二小学校150周年記念碑

て近代設備が整ったここは、市内の全中学校とふたつの小学校の給食を調理している重要な場所。

あとは桜堤団地を通り抜け、亜細亜大学正門横の道を通り、約3キロの旅は一気にゴールの「ふるさと歴史館」へ。同歴史館では参加者全員が、フロアにある航空写真で自宅を探す一幕も。

ゴールの後に、都営団地境5丁目集会所で懇談。参加者からは「空模様が怪しかったので迷ったが、思い切って参加して良かった」「今まで気付かなかった事も知ることが出来た」「こんな催しなら、また参加したい」「この企画とは別に、懇親会などもあるといいなあ」などの多くの声が出ていました。

将来的には「地区の美化清掃、近隣の防犯面・交通安全面の総合チェック」などを併せて図ることをめざしているこの企画、第3回はどこに行くか、今から希望をうかがいながら案を練っているところです。

境地区・加藤力弥記



玉川上水の水衛所の跡地

突撃レポート 現場へ



—私の就業体験記 緑化班の巻—



武蔵野市シルバー人材センターの事業の一つに公園での除草や清掃の作業に従事する仕事があります。市内には大小含めおよそ170を超える公園がありますが、それを四つの班で分担します。今回はその一つ「第二班」の作業現場、「はらっぱおさしの公園」と「グリーンパーク緑地」を訪問しました。

- 全体の様子…初めに班長の仁平さんに説明してもらいました。
- ・第二班は7名体制で中町・緑町・関前・西久保・八幡にある34か所の公園を担当します。
- ・仕事は月～木で公園の除草と清掃。8:00から12:00まで。他に自分の担当する公園のごみ拾いがあり、月・水が1時間程、金は2時間程です。
- ・仕事の日、先ずラジオ体操で始まり、草の生え具合など現場の状況把握につとめて一日の仕事の進め方を確認するミーティングを行います。
- ・用具は予算がありその範囲で各自用意しますが、必須の道具は小さな鎌で、ヤスリも用意します。鎌の手入れは怠りません。休憩の時間もそれに充てます。



グリーンパーク緑地にて
前列＝井原博之さん(八幡町)・鈴木富美子さん(緑町)・富野龍平さん(北町)・櫻井勝實さん(北町)
後列＝石川昇さん(東町)・仁平修司さん(西久保)・植村和宏さん(緑町)

—活動を始められたキッカケ、動機についてお聞かせください。(発言の内容が重なっている時もあり、趣旨を必要に応じて整理し、ランダムに取り上げています。以下、同様です)

●アウトドアで太陽の日を浴びての仕事ができることを望んでいた。●四季を通じて自然に接することが出来る。●残りの人生、仕事をするなら楽しくが大前提。緑化班の仕事は人とつながり、体も動かせ、戸外の自然の中でできるものだから。●74歳で退職。規則正しいスケジュールで、しかも体を動かした方が精神的にも健康的にも良いと思った。●70歳で退職、引き続き何かからだを動かすことが健康のためと思ったから。

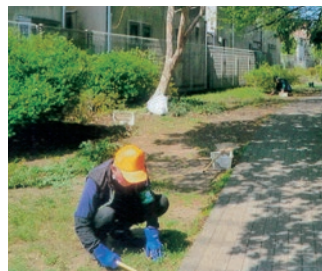
—活動の様子、大変な事、苦勞されている事、などお聞かせください。

●チームの人柄がよいので毎日楽しく作業が出来る。7名による共同作業。班長を中心に協力的。●仕事時間は黙々と、でも休憩時間は楽しく。皆さん話題も多彩で穏やかで楽しい職場です。●今年で5年目。最初の1年目くらいはあちこちが痛くなったりしましたが、その後はからだも慣れ順調に過ごせるようになり、良さ仲間に恵まれ楽しく充実した毎日を過ごしている。●除草作業は足・腰をよく使うので慣れ

るまで時間がかかる。●真夏の直射日光にさらされている時はつらい。●鎌がいう事を聞いてくれない時は大変。鎌研ぎもそうだが使い方のコツがなかなかつかめない時大変。夏の暑さ対策、虫対策にひと苦勞。●仕事仲間との和を大切に。

—この仕事で気を付けていることはどのようことでしょうか

●チームのコミュニケーションを取り、仕事の作業効率をUPさせること。●公園移動時の自転車事故や毒虫に接触してかぶれないように。何はともあれ、ケガをしないこと。



●先ず安全が第一。自転車の移動、用具(特に鎌)の取り扱いなどに注意。●来園する皆様に気持ちよく使っていただけるように、また、子供が多く来るので、怪我をしないよう、石や枝を取り除く等清掃を徹底するべく心がけている。

—最後に嬉しいことややりがいは?

●清掃後のきれいになった公園内で、市民や子供達が安全に楽しく過ごしている姿を見られる。●幼稚園児に声をかけられると嬉しい。●手際よく仕事が進んだ時。季節の緑や花を間近に感じられた時。●公園の掃除をした後を見るととてもきれいで気持ちがいいです。また、通行人から感謝の言葉をかけられた時、「この仕事をやっていて良かった」と思います。●通行人から、「きれいになりますね」、「ご苦勞様」との声をかけられた時は嬉しい。●来園されるお客様にきれいにして頂いてありがとうございますとの声もかけられることも多く、また、地元の方々との会話をする機会もあり、コミュニケーションがとれ、清掃した後を見ると清々しい気持ちになります。

【後記】 ありがとうございます。市内175か所を超える公園の美と安全を守る仕事がこのように本会の事業として進められていることを見ました。通行人の方々からの「きれいになりましたね」の感謝の声に接した時は本当にうれしい、と見せた緑化班皆さんの笑顔に感動を覚えました。このような素敵な社会貢献活動がシルバー人材センターにあることを嬉しく、誇らしく思います。

【概要】

仕事の内容	市内公園の除草・清掃
仕事の場所	市内約170の公園
仕事の時間	2時間～6時間程度(曜日により異なる)
登録会員数	28人
事務局担当	小木曾

私のふるさと 第33回

緑町
山田 馨 会員

—— 山形県飯豊町中津川岳谷 大日杉小屋 ——

小学5年生10歳の時の夏休みに練馬区の長兄宅に転居し大泉第二小学校に転校して来るまで、山形県と新潟県、福島県の県境近くの山中に住んでいました。



山小屋での生活では、夏には登山者の山小屋宿泊、案内人等、登山道の「道刈^(※)」、山道の補修作業等を行い、秋は、なめこ

の栽培や缶詰めの詰め作業、舞茸等のキノコ採り、山葡萄採りなどをしていました。

冬になると、小屋に木こりを集め、山に入り木を切り、ソリを利用して木材を道路まで運ぶ事を行っていました。

そして春になるとまた小屋に入り、ゼンマイ、コゴミ、ワラビ、ウド、等を探っていました。

また、地区の人の多くは狩猟を生業とするマタギ(猟師)の様な生活もしていました。狩猟免許を持ち狩猟高は年間の割当量がありますが、クマ、ウサギ、カモ、ヤマドリなどを猟銃で狩っていました。

中学生になってから高校生まで、前述のとおりまだ東京の長兄宅に住んでいましたが、夏休みは山形県に戻り実家山小屋から少し新潟県側に行った「大日杉山小屋」で、溪流に行きイワナ釣り、モリ突きで遊んでいました。ある時43センチのイワナをしようと、無我夢中で持ち帰った思い出があります。

飯豊山にも毎年登りました。冬の山小屋は、6メートルも雪が積もる場所なので、冬は米沢市内の家に行き、春と秋は小屋から6キロほど下った町と山の中間の家、と一年に4回移動する生活でした。そういった事情もあり、将来のことを案じた父親と長兄が私だけ小学校の時に上京させる事となったのでした。山の小学校分校では同級生が3人、全校生徒27人でした。

父親と次兄は仕事で林業を営んでいて、50年以上山小屋を守り運営していたので、その事により環境省より表彰されていました。

山小屋は父親のあとに管理者が二男、三男と続き、10年前に廃業して小屋の権利を飯豊町に返却しました。現在は飯豊町で管理運営しています。

現在では、YouTubeでも「飯豊に生きる」などで大日杉小屋が紹介されています。この中で現在の冬の山小屋の映像に、かつての山小屋の姿、父親の近影やその名「山田長之助」を刻んだ石碑が映っています。(T.K.記)

<https://youtu.be/FrLkgIU6a4o?si=ZX1yP7e0pXwswmPJ>

(※) 道刈：道路などの草を刈り、修繕をすること



第47回紅花国体山形県飯豊町大日杉小屋にて
実施手伝い 平成4年10月



冬の山小屋



リレーエッセイ

シルバー人材センター
4年生

関前 小野 長生

だんだん鏡を見たくなくなる年齢になりました。中学・高校・学生時代の同級生と久しぶりに会うと誰だかわからない経験があると思います。中学校の先生が言った言葉で「リンカーンは40歳を過ぎたら顔に責任を持って」と当時は意味はわからなかったが現在ではわかる様な気がします。その人の生き方そのものである。また、よく聞く言葉として「一年だから」と諦めの様に聞こえる。自分の生い立ちは地元中学校在学中、奥多摩の山を登りきり、高校では山岳部に所属し北アルプス・南アルプス・東北の山・高校2年の時には国民体育大会山岳部門、東京都代表となり九州大分県まで公費で行かせていただきました。学生時代はやはり登山に熱中し岩登りもしましたが、思い出に残るのは厳冬の槍ヶ岳北鎌尾根縦走です。また、ウエットスーツを着用した素潜りを経験しました。

在籍した学科は船の航海士を目指



ヒマラヤのアンナブルナ

しましたが、白内障を患い航海士にはなれませんでした。でも単位取得として半年間日本を離れ南太平洋で乗船実習を経験。この10年間は20年にも匹敵する充実した生活でした。卒業後「船の科学館」に縁あつて就職して、来館者に船の重要性を説明し、接客業を勉強。退職後は高校山岳部OB会でヒマラヤのアンナブルナトレッキング、また、オートバイで日本半周の旅に出かけました。その後東京都の国体の手伝いをし、学校用務員5年間・保育園用務員3年間を経験し現在に至っております。「一年だから」ではなく考え方を前に前に、今自分に何ができるか。今日1日自分に勝ったのか、負けたのか自分しかわかりませんが1日1日精一杯生きていく実感を噛みしめ、感謝の気持ちをお大切に生きられたらと願っております。

私のチャレンジ教室

吉祥寺南町 玉井 恭二 会員

趣味はいろいろやりました。学生時代は麻雀、音楽サークル活動、会社に入ってスキー、登山、社交ダンス、エアロビクス、海外旅行、英語小説の読書会、駐在先のオーストラリアでゴルフ、カナダでミュージカルやライブコンサート鑑賞、ロシアでクラシックバレエ鑑賞100回ほど、などなど。

今はNHKラジオの語学番組を聴くこと、歌うこと、クラシックギターです。

歌は還暦を過ぎた頃、一緒にロシア語を習っていた友だちに「音読の声が大きいので、歌でも習え」と言われて、吉祥寺山野楽器の大人向け音楽教室の「クラシック声楽」に通い始め、声の出し方や表現の仕方を楽しく研究しています。少し歌えると男声不足の合唱サークルで重宝されるので、

レッスンの他にロシア民謡をロシア語で楽しむ会、シルバー人材センター福寿草、武蔵野市の無料講習会、荻窪・三鷹のスマイル合唱団などで歌っています。

クラシックギターは中学生から大学2年位まで独学で弾いていました。途中からフォーク、ロックに傾倒し、就職して定年退職するまでは仕事一筋になったため弾かなくなりましたが、2023年4月から「ギターアンサンブル三鷹」の無料講習会に参加し、クラシックギター練習を半世紀振りに再開しました。

歌もギターも、「上手いけどつまらない演奏よりは下手でも面白い演奏で何かを伝えられれば」そんな気持ちでやっています。

クラシックギターやコーラスだと、だれでも知っている曲、でき

る曲が多いので話が早く友だちもすぐできますし。

というわけで、何か始めたいと思っている方は、とりあえずギターアンサンブル三鷹（吉祥寺もあり）か福寿草へのご参加をお勧めします。



手芸小物班 13回目の雑巾寄贈式

3月6日(水) 武蔵野市役所にて、当センターから市立小学校へ1,400枚の雑巾を寄贈しました。雑巾寄贈活動は地域と児童への貢献を目的に平成23年度から始め、今回で13回目を迎えます。

会員の皆様から寄付されたタオルを、手芸小物班が一枚一枚雑巾に仕立て、安達会長から竹内教育長へお渡ししました。



東京マラソン祭り ランナー応援イベント2024 ボランティア参加

3月3日(日) 東京マラソン祭りが開催され、当センター会員がボランティアとして参加しました。

このお祭りは東京都主催のもと、東京マラソンのコース沿道において、演舞や音楽などのイベントを実施するもの。当日は6名の会員が日本橋浜町



沿道の案内・誘導作業を行いました。応援イベントスタッフのサポートもあり、安心して作業出来たとの声がありました。

編集後記

暑中お見舞い申し上げます。この暑さの中、いまだ全域にわたる回復を見ない能登半島の報道があり、ウクライナ、パレスチナでの戦いも収まらず、心痛む日々です。一日も早い回復と平和を祈ります。そのような中ですが会報229号をお届けします。

本号の主要記事はこの6月19日(水)に開催された定時総会の報告です。挨拶で安達会長は「自主・自立」「共働・共助」「社会奉仕」の基本理念のもと魅力あるセンターを目指すことを強調されました。ご精読ください。

本号の編集では今回も、執筆やインタビューでたくさんの方の会員の皆様にご協力をいただきました。お陰さまで、楽しく豊かな紙面でいっぱいです。ありがとうございました。

(M.U)